

OCN
Phone
ドットフォン Office050番号に着信があるほど割引に!
通信機販売の強い味方「着割」登場NTTコミュニケーションズ
ネットビジネス事業本部 IPサービス部
担当課長
飯田健夫氏

“かかってくる”ほど“かける”がおトク。

企業が利用中/利用予定のIP電話“2年連続No.1”の中小事業所向け050IP電話サービス「OCNドットフォン オフィス」が12月1日、パワーアップする。050番号を着信番号として利用するだけで、毎月の発信通話料を削減できる画期的な割引サービス「着割」がスタートするのだ。

「着割」の登場は、通信機ディーラーにとっても大きなチャンスになる。なぜなら、OCNドットフォン オフィスの着信メリットとビジネスホンを組み合わせれば、これまでになかった新しい付加価値提案が可能になるからだ。さらに進化したOCNドットフォン オフィスの活用が、今後のビジネスホン販売の大きな鍵となる。

通信機ディーラーにとって、IP電話サービスはビジネスホンの商談に欠かすことのできない“頼もしい相棒”だ。IP電話サービスを導入するには、機器側のIP電話対応が不可欠。IP電話サービスのメリットをどれだけ顧客に訴求できるかで、商談成功率は大きく変わってくる。

そこで注目したいのが、12月1日から始まる「OCNドットフォン オフィス」の新サービス「着割」だ(図1)。これは050番号への着信時間に応じて、毎月の発信通話料の合計が割引されるサービスである。

『インターネット白書2005/2006』(インプレス発行)において「企業が利用中/利用予定のIP電話」の第1位に2年連続して選ばれるなど、従来から高い評価を得てきたOCNドットフォン オフィスだが、「着割」の登場により、その魅力にはますます磨きがかかる。

「ビジネスホンの提案時に、『着割』を活用していただければ、これまでとは違ったアプローチが可能になります。NTTコミュニケーションズ ネット

ビジネス事業本部 IPサービス部の飯田健夫担当課長はこう話す、その言葉通り、「着割」の開始は通信機ディーラーにとっても朗報となるものだ。

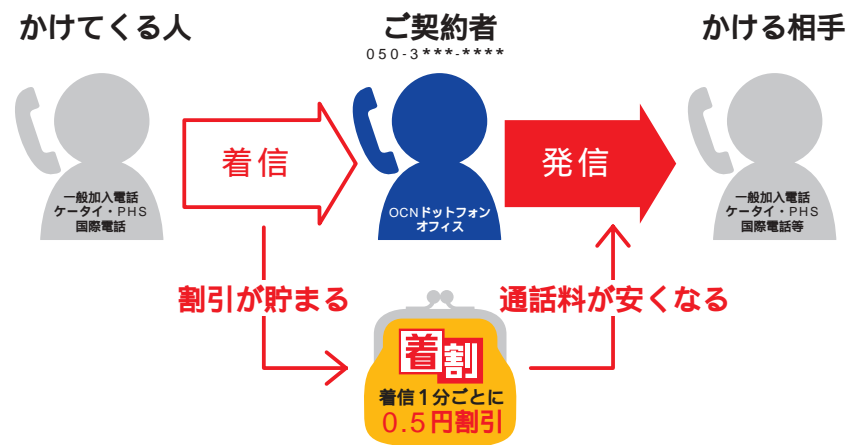
さらに進化したOCNドットフォン オフィスは、一体どのようなメリットを通信機ディーラーにもたらすのか。「IP電話サービスはどれも同じ」というのは大間違いなのである。

「着信」でコスト削減

「着割」は一般加入電話や携帯電話などからOCNドットフォン オフィスの050番号に着信があった場合、着信通話60秒ごとに0.525円(税込)が当月の発信通話料の合計額から割引になる。申込手続および月額利用料は不要。OCNドットフォン オフィス契約者であれば、自動的に割引が適用される。

中小事業所における1日あたりの着信時間を1時間程度とした場合、1カ月の営業日が20日ならば毎月の「着割」による割引額は約600円になる。もともと一般加入電話より割安なIP電話

図1 「着割」のサービスイメージ



だが、OCNドットフォン オフィスなら、一層おトクになるわけだ。当然、コールセンターなど着信機会の多い業務の場合、「着割」による割引メリットはさらに大きくなる。

050番号なら両方おトクに

着信を受けるたびに毎月の通話コストを削減できる画期的な割引サービス「着割」だが、実は得するのはOCNドットフォン オフィスの契約者だけではない。050番号は、電話をかける側にとってもメリットがある。

「一般加入電話からOCNドットフォン オフィスの050番号への通話料は全国一律3分11.34円(税込)。IP電話の発信通話料が安いことはよく知られていますが、050IP電話の場合、かけてくる方も魅力的な通話料なのです(飯田氏)

コール数の増加が売上アップに直結する企業は多いが、かける側が躊躇する理由の1つが通話料である。例えば、通販ショップや旅館・ペンションの場合、全国に見込み客が広がるが、遠方の人ほど通話料が気になり、気軽に電話をかけづらい。

その点、全国一律3分11.34円(税込)のOCNドットフォン オフィスへなら、安心して電話をかけてもらえるうえ、「着割」による割引まで受けられる。

さらにNTTコミュニケーションズでは、まだまだ知られていない050番号の着信通話料の安さを広くアピールするため、おトクな通話料が一目で伝わる「050番号マーク」を用意した。「名刺やDM、Webサイトなどに050番号マークをご利用いただき、050番号の着信の安さをぜひビジネスに活かしてください」と飯田氏は語る。050番号マークの登場は、050IP電話の着信メリットの認知拡大に一気に弾みをつけることになるだろう。

図2 おトクな通話料が一目で伝わる「050番号マーク」



050番号マークはWebサイト(http://www.ocn.ne.jp/voip/050markdl/)でダウンロード(無料)できる

ビジネスホン販売に貢献

ここまでOCNドットフォン オフィスの着信メリットについて見てきたが、通信機ディーラーはこの魅力をどうビジネスに活かしていけばいいのだろうか。

まず挙げられるのは、着信機会の多い企業に対する提案への活用だ。電話がかかってくるたびに、さらに通話コストを下げられることを訴求すれば、IP電話の発信通話料の安さだけでは良い結果が得られなかったユーザー企業の反応も大きく変わるにちがいない。コールセンターはもちろん、現場の従業員から頻りに連絡が入る建設業や、外回りの営業担当者の多い事業所など、「着割」の効果を得られそうな業種は数多く思い浮かぶ。

前述した通販ショップや旅館・ペンションなど、かける側の通話料の安さが売上や顧客満足度の向上につながるユーザー企業にも、きわめて有効だろう。顧客に喜んでもらえるうえ、着信側が通話料をすべて負担する必要もない。さらに毎月の通話コストも削減できてしまう。一石三鳥である。

飯田氏によれば、050番号の着信メリットの訴求は、上位機種販売にも結び付けられるという。これまで発信専用で使われることが多かった050IP電話だが、着信にも積極的に利用すると、必要な通話チャネル数が

増加するためだ。OCNドットフォン オフィスの場合、追加チャネルサービスを利用すれば、リーズナブルに通話チャネルを追加できるので、ユーザー企業にも提案しやすい。

また、忘れてならないのは、同一ISPおよび提携ISP間の通話無料という050IP電話最大の特徴だ。「最近、複数拠点をつなぐ“疑似内線”として050IP電話をご利用いただくケースが増えています。ADSLにも対応する050IP電話なら、光ファイバーが開通していない地域でも利用可能です(飯田氏)。ちなみにOCNドットフォン オフィスの提携ISP数は約180と業界トップ。無料通話の恩恵を最も受けられる。

このほか、追加1番号につき52.5円(税込)の050ダイヤルインサービスを活用して内線子機の増設を提案したり、さまざまな形で付加価値提案に活かせるOCNドットフォン オフィス。

「パートナー様の通信機器販売ビジネスの一助となるよう、今後も050番号ならではの新しいサービスを展開していきます」と飯田氏は最後に力強く語った。

お問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社
TEL: 0120-561-564
時間: 9:00 ~ 18:00(土・日・祝日は除く)
URL: http://www.ocn.ne.jp/voip/phone-office/